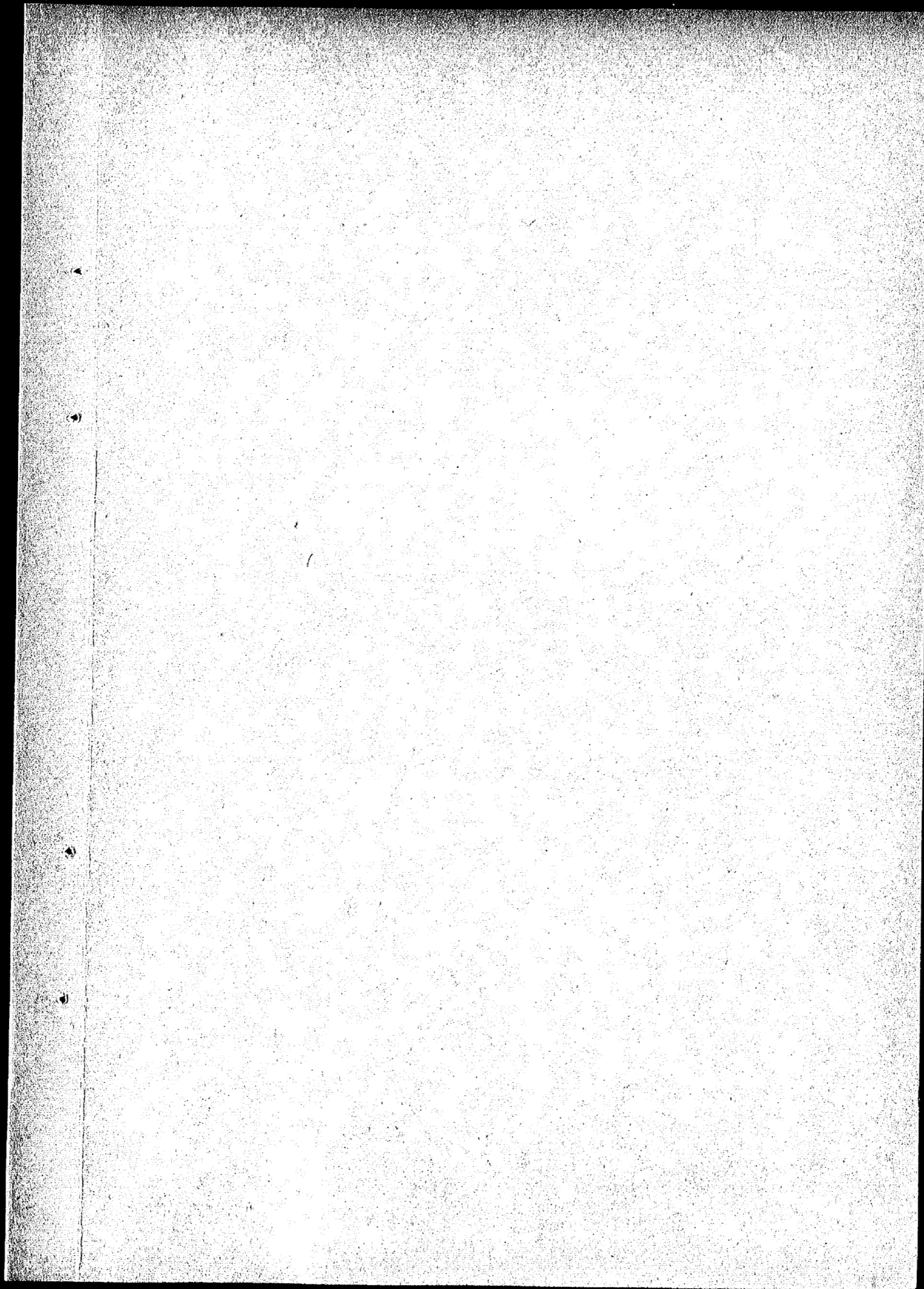




国立公文書館	
分類	返 青
排架番号	3 A
	15
	8-1-33



官情報第六九四號

昭和二十年九月十五日

警視廳官房

戦後對策ヲ繞ル主要經濟團體ノ動靜ニ就テ

曩ニ大藏、商工兩大臣、戰界有力者ト、懇談會開催ヲ契機トシテ戦後經濟對策ヲ繞ル民間側、空氣ハ頗ニ活潑化シ此際業界一致相提携シ以テ政府今後、施策ヲ鞭達核カスベシトナシ九月七日開催、日本經濟聯盟會常務理事會席上ニ於テハ日本經濟聯盟會、重要産業協議會、全國商工經濟會協議會、商工組合中央會、四團體連名ヲ以テ戰後經濟處理ニ對スル申合ヒヲ行フ、外商工大臣諮問事項ニ對シ答申書ヲ決定シ更ニ今後、戦後經濟處理問題ニ關シ經濟界ノ總意ヲ凝結シ總知ヲ動員スルヲメ四團體ヲ母体トスル各團體共同、戦後對策處理委員會(仮稱)ヲ設置スルヲ其ノ後關係團體間ニ於テ協議シツ、

アリング今般別記ノ如ク委員ヲ内定 来ル十八日午後二時ヨリ九、内日本工業俱樂部ニ於テ今委員會ノ結成ヲ行フト 共ニ今後、運營方針ニ付協議ヲ行フ予定ナリ 尚從來統制団体ヲ基礎トシテ活動シ来レル重要産業協議會ニ在リテハ今次終戦ニ伴ヒ重要産業団体令ニ基ク現存統制団体ノ解消ハ必至ニシテ重産故自体モ当然存続ノ意義ヲキ事態ニ至リルバキヲ予想シ予テ之ガ對策ニ関シ五腦者間ニ於テ寄々協議中ニアリシガ當面セル國內諸問題ノ處理ト共ニホツダム宣言ニ基ク産業經濟ノ再編並ニ賠償義務ノ履行等複雑深刻ナル戦後經營ヲ現下ノ我國力ノ現状ニ於テ行フニハ自由經濟ノ復歸ハアリ得ズシテ何等カノ形ニ於ケル統制ハ依然必要ナリト見地ヨリ新事態ニ對應スルマキ新産業団体、設置ニ付此際積極的ニ政府ニ献策スルコトナリ近日中非常時特別委員會ヲ開催シ重産故トシテ新産業団体ニ関スル構想ヲ取纏メ当局ニ之ガ実施方ヲ要望セント目下準備中、模様ナリ

館書文公	①	3 A	15	8-1-33
国立	②			
分類			配架番号	

戦後對策處理委員(案)

青木謙太郎	新井章岩	鑄谷正輔	種田健藏	片倉三平	酒井忠七	眞藤慎太郎	竹内可吉	中川末吉	吉田俊之助	宮島清次郎
明石照男	荒川昌二	石田礼助	大屋敦	小松隆	渡沢敏三	住井辰男	武井大助	南郷三郎	万代順四郎	三輪善兵衛
浅野總一郎	足立正	石川一	大内愛七	伍壹卓雄	鳥田勝之助	冬木祥枝	寺井久信	藤山愛一郎	松本健次郎	山口喜三郎
浅野良三	井坂孝	石坂泰三	河上玄一	郷古潔	斯波孝四郎	梶桂三	長崎英造	船田一雄	松崎半三郎	渡辺義介